

## 第 15 回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム (FB15)

- 主催 化学工学会 粒子・流体プロセス部会 (流動層分科会)  
共催 化学工学会 エネルギー部会  
化学工学会 反応工学部会 反応装置・プロセス分科会  
粉体工学会 凝集性流動層のスケールアップグループ会  
南九州化学工学懇話会
- 協賛 火力原子力発電技術協会、資源・素材学会、触媒学会、石炭エネルギーセンター、石油学会、日本エネルギー学会、日本機械学会、日本混相流学会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会、日本燃焼学会、日本粉体工業技術協会、日本薬学会、日本流体力学会、廃棄物資源循環学会、粉体工学会

日時 2009 年 12 月 10 日 (木) ~ 11 日 (金)

会場 ドルフィンホール (鹿児島ウォーターフロント「ドルフィンポート」内会議室)  
〒892-0814 鹿児島県鹿児島市本港新町 5-4 (<http://www.dolphinport.jp/>)

アクセス 鹿児島空港から：

鹿児島市内方面行きリムジンバスで「天文館」下車徒歩約 10 分。

鹿児島中央駅から：

市電)「いづろ通」「朝日通」下車徒歩約 5 分、または「天文館」下車徒歩約 10 分。

バス)ドルフィン 150 をご利用の場合、「ドルフィンポート」下車すぐ。

市営バスをご利用の場合、25 番線で「ドルフィンポート」下車すぐ。

### 講演募集内容

本シンポジウムは流動化・粒子のプロセッシングに関する技術・学術的知識の交換と討論を目的としています。討論を活発化する内容であれば研究領域は問いません。また、未発表、既発表の有無は厳格には問いません。特に企業での開発事例の紹介を歓迎します。

講演は口頭発表 (発表 15 分+質疑 5 分、または発表 10 分+質疑 5 分) とポスター発表の併用とする予定です。

講演申込締切 2009 年 9 月 25 日(金)

次の項目について、下記事務局まで E-mail にてお送り下さい。

- 1) 題名、著者名、著者の所属 (和文)
- 2) 題名、著者名、著者の所属 (英文)
- 3) 300 字程度の和文要旨または 200 ワード程度の英文要旨
- 4) 代表者連絡先 (郵便番号、住所、氏名、電話、FAX、E-mail アドレス)
- 6) 希望発表形態 (口頭 15 分・口頭 10 分・ポスター：ポスター発表をお願いする場合があります)

**原稿締切** 2009年10月30日(金) (必着)

原稿は和文または英文で刷り上がり **3 - 4 頁**程度 (招待講演は**最大 6 頁**) とします。和文の場合には英文要旨をつけるとともに、図表とキャプションは英語で書いて下さい。提出に際しては原則として PDF ファイルとして下記アドレスまで E-mail にて送付して下さい。

・原稿送付先アドレス fb15@z.nsf.jp

#### **原稿作成要領**

前回 (第 14 回) のシンポジウムから書式が統一され、要旨集も A4 版となりました。原稿作成要領の詳細はホームページにてお知らせする予定です。提出に際しては原則として PDF ファイルとして E-mail に添付して送付して下さい。なお、PDF 化が出来ない場合は事務局に相談下さい。

#### **問い合わせ・連絡先 (事務局)**

〒890-0081 鹿児島市郡元 1-21-40

鹿児島大学大学院理工学研究科 化学生命・化学工学専攻 甲斐敬美、中里 勉

TEL/FAX: 099-285-8361

E-mail: fb15@z.nsf.jp

シンポジウム URL <http://fb15.nsf.jp/>

#### **参加費 (技術交流会を含む) (事前受付)**

民間企業に所属する個人正会員	20,000 円
大学・学校・公的研究機関・独立行政法人の正会員	15,000 円
主催・共催・協賛団体の法人会員会社の社員	25,000 円
学生会員	5,000 円
会員外	35,000 円

(共催・協賛団体に所属する個人会員の参加費は会員扱いとなります。化学工学会の個人会員は会員扱いです。)

\*事前申込締切の 12/1 以降に振込をされた場合は、参加受付票か振込を証明する書類を持参下さい。当日現金で支払う場合、各参加費が 3,000 円増しとなります。